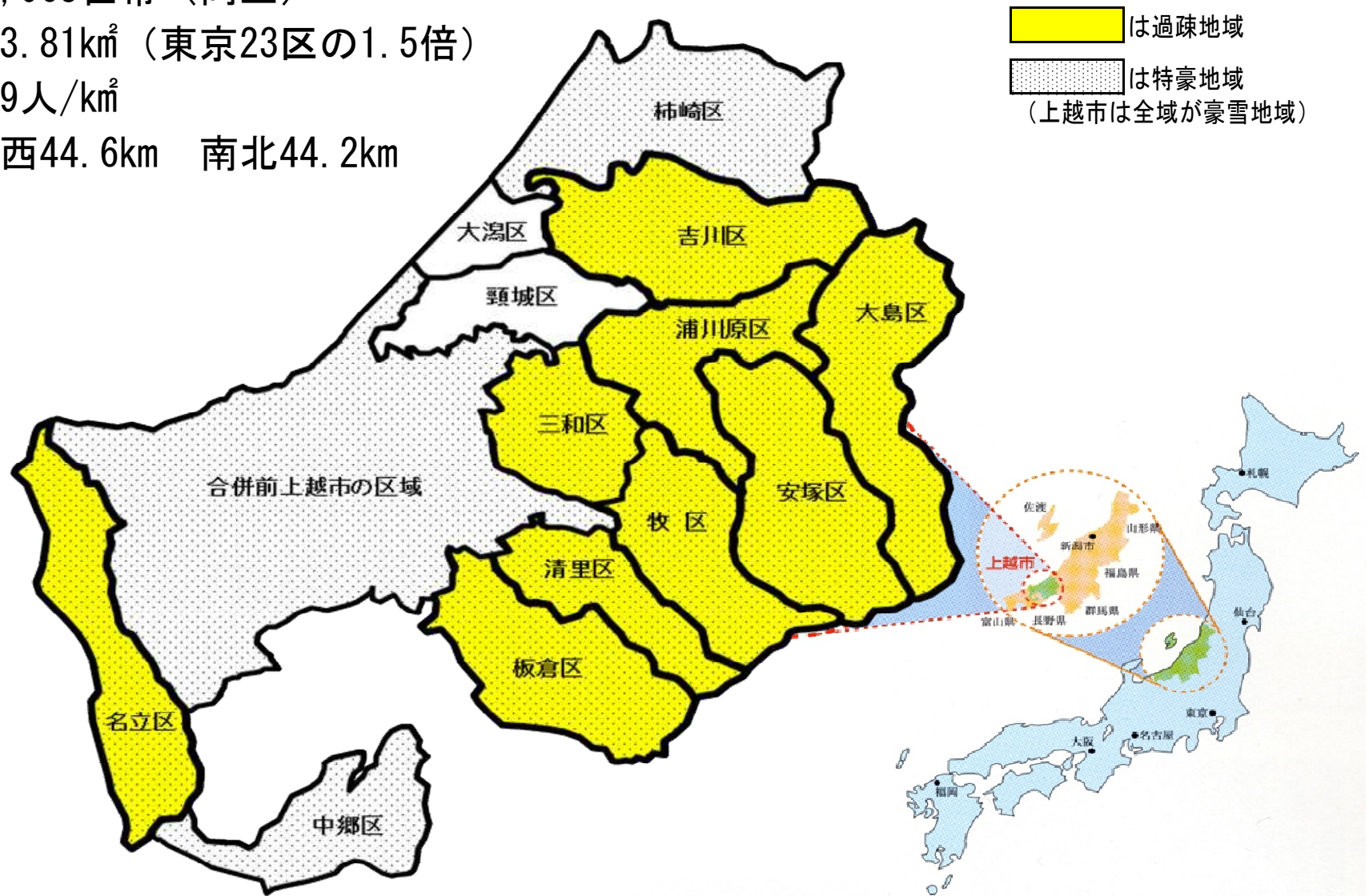


上越市の地域公共交通の取組

上越市

上越市の概要

- 人口 194,132人 (H30.4.1)
- 世帯数 75,063世帯 (同上)
- 面積 973.81km² (東京23区の1.5倍)
- 人口密度 199人/km²
- 広がり 東西44.6km 南北44.2km



公共交通の現状①

○路線バス 86系統 (H30年度)

【補助路線73系統】

- ・ 国庫補助系統 (地域間幹線系統) 7系統
- ・ 国庫補助系統 (地域内フィーダー路線) 21系統
- ・ 新潟県単独補助系統 16系統
- ・ 市単独補助系統 29系統

○市営バス (自家用有償旅客運送) 5区13路線

- ・ 安塚区、大島区、牧区、頸城区及び名立区で運行 (合併前の旧町村)
- ・ スクールバスに市民が混乗

○鉄道 3社5路線

- ・ 新幹線 北陸新幹線
- ・ 在来線 JR東日本 信越本線
えちごトキめき鉄道 妙高はねうまライン、日本海ひすいライン
北越急行 ほくほく線

公共交通の現状②

○路線バスに係る補助金の推移

(千円)

補助金	H28	H29	H30(見込み)
経常費用	686,607	700,717	689,779
国庫補助（地域間幹線系統）※県協調補助含む	58,864	77,009	74,931
国庫補助（地域内フィーダー系統）	24,063	29,740	34,266
新潟県単独補助	30,078	36,171	26,877
市補助	332,998	326,206	329,289
補助合計	446,003	469,126	465,363

○鉄道に係る補助金の推移

(千円)

補助金	H29(見込み)
えちごトキめき鉄道安定経営支援補助金（新潟県・沿線3市の投資・支援スキームに基づく）	62,595
北越急行安全輸送設備等整備事業補助金（鉄道軌道安全輸送設備等整備事業への協調補助）	2,333
合計	64,928

公共交通の計画

○上越市総合公共交通計画（H27～H31）

将来像：快適な暮らしを支える持続可能な地域公共交通

基本方針：①市民の日常の生活を支えます。
②市内外の交流促進を図ります。

目標指標：路線バス等の利用者数 1,561千人(H31) ※H25 1,683千人
路線バス等の収支率 30.0%以上(H31) ※H25 33.4%

○上越市地域公共交通再編実施計画（H28～H31）

再編方針：①路線の役割の明確化、交通拠点への接続
②通学、通院、買い物需要への対応
③運行効率の向上
④分かりやすさの向上

実施内容：バス路線の再編及び公共交通の利用促進

地域公共交通再編実施計画（バス路線の再編）

①上越大通り線、浜線 ①②③④

- ・ 交通拠点、市役所、高校、病院などへの接続改善
- ・ 浜線との重複区間を解消
- ・ 再編特例により浜線の幹線補助を維持（約6,100千円）

②宮口線 ⑤

- ・ 商業施設へ乗り入れ
- ・ 再編特例により幹線補助対象に（約7,600千円）

③名立線 ⑨

- ・ 同区間を運行するスクールバスと一本化し、市営バス化
- ・ 約4,000千円の収支改善、特例によりフィーダー補助対象に（約4,900千円）

※再編特例による国庫補助の増額 約70,000千円（H30見込み）

地域公共交通再編実施計画(バス路線の再編)

上越市地域公共交通再編実施計画(平成28年9月認定)の概要

北陸信越運輸局

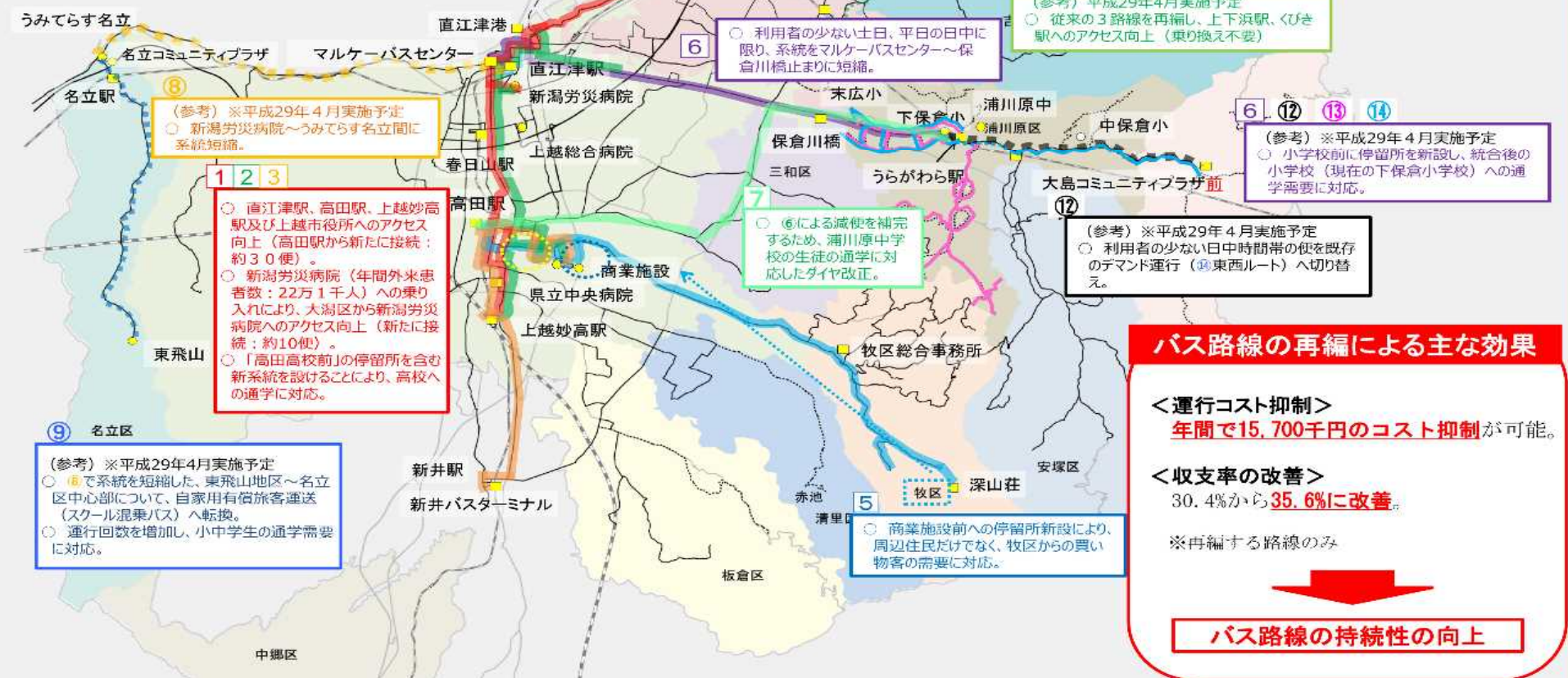
バス路線の再編後 (※ 再編する路線のみ記載)

- 1 上越大通り線 (鶴の浜～新潟労災病院～市役所～高田駅～上越妙高駅)
- 2 上越大通り線 (直江津港・福橋東～西城町～県立中央病院)
- 3 上越大通り線 (中央病院～上越妙高駅～新井バスターミナル)
- 4 浜線 (柿崎バスターミナル～鶴の浜)
- 5 宮口線 (高田駅前～深山荘)
- 6 直江津・浦川原線 (マルケーバスセンター～浦川原バスターミナル)
- 7 高田・浦川原線 (高田駅～浦川原バスターミナル)
- 8 名立線 (新潟労災病院～名立コミュニティプラザ)
- 9 名立区自家用有償旅客運送 (うみでらす名立～名立コミュニティプラザ～東飛山)
- 10 吉川西部循環線 (くびき駅経由)
- 11 吉川西部循環線 (上下浜駅経由)
- 12 大平線 (浦川原小学校前～大島コミュニティプラザ)
- 13 月影・下保倉・末広ルート
- 14 東西ルート

※ 丸囲み数字・点線の路線は29年4月実施予定。その他は28年10月実施予定。

バス路線の再編前の主な課題

- 主要拠点へ接続していない
- 郊外部の人口減少に伴うバス利用者の減少
- 新たな商業施設へ接続していない
- 小学校統合への対応



(参考) ※平成29年4月実施予定
○ 新潟労災病院～うみでらす名立間に系統短縮。

○ 直江津駅、高田駅、上越妙高駅及び上越市役所へのアクセス向上(高田駅から新たに接続: 約30便)。
○ 新潟労災病院(年間外来患者数: 22万1千人)への乗り入れにより、大湯区から新潟労災病院へのアクセス向上(新たに接続: 約10便)。
○ 「高田高校前」の停留所を含む新系統を設けることにより、高校への通学に対応。

(参考) ※平成29年4月実施予定
○ ⑨で系統を短縮した、東飛山地区～名立区中心部について、自家用有償旅客運送(スクール混乗バス)へ転換。
○ 運行回数を増加し、小中学生の通学需要に対応。

○ 利用者の少ない土日、平日の日中限り、系統をマルケーバスセンター～保倉川橋止まりに短縮。

○ ⑥による減便を補完するため、浦川原中学校の生徒の通学に対応したダイヤ改正。

○ 商業施設前への停留所新設により、周辺住民だけでなく、牧区からの買い物客の需要に対応。

(参考) 平成29年4月実施予定
○ 従来の3路線を再編し、上下浜駅、くびき駅へのアクセス向上(乗り換え不要)

(参考) ※平成29年4月実施予定
○ 小学校前に停留所を新設し、統合後の小学校(現在の下保倉小学校)への通学需要に対応。

(参考) ※平成29年4月実施予定
○ 利用者の少ない日中時間帯の便を既存のデマンド運行(⑭東西ルート)へ切り替え。

バス路線の再編による主な効果

- <運行コスト抑制>
年間で15,700千円のコスト抑制が可能。
- <収支率の改善>
30.4%から**35.6%に改善**。

※再編する路線のみ

バス路線の持続性の向上

地域公共交通再編実施計画【利用促進】

(主なもの)

- ・ おでかけフリー定期券 … 高齢者は1か月5,000円で乗り放題
- ・ 通学100円バスの運行 … 中高生の通学利用は運賃100円
- ・ 総合時刻表の作成 … 鉄道と路線バスの路線図と時刻表を一冊にし全世帯配布

(100円バスを利用する高校生)

(高校新生向け啓発資料)



公共交通への招待状

新生のみなさんへ

ごあいさつ
わたしたちが安全な通学をお手伝いします!

えちこトキめき鉄道株式会社

ご入学おめでとうございます。新生のみなさんは、これから始まる新しい学校生活に期待と不安でいっぱいだと思います。私たち乗客は安全、安心そして快適にご利用いただけるように日々の業務に努めております。1日の中で鉄道を利用する時間はわずかなかもしれませんが、3年間の通学で新たな出会い、仲間が増えることでしょう。通学が学生生活の思い出の1ページとなると思います。

運転士 西川 貴広
(上野原高校実習中)

北越急行株式会社

ご入学おめでとうございます。多くは、早く通学する学生さんも多いから嬉しいですね。皆さんには、なるべくご利用いただいております。電車での通学が初めてという方が多いとは思いますが、新入生の皆さんが安心して通学できるように、安全で楽しい通学に努めてまいります。

運転士 本山 貴之
(東洋学園高校)

バスお試し無料乗車券

No. 0000

●光臨からのメッセージ ●運転士ごあいさつ ●列車・バスの乗り方
●定期・切符・通学100円バス ●運賃・運賃の確認方法

あじろの乗客部

有効期間 令和3年3月1日(日)~4月30日(月)迄

鉄道に関する取組①

○基本的な考え方

- ・ 住民の通勤・通学などに不可欠な公共交通
 - ・ 地域経済を支える重要な社会インフラ
- 将来にわたり維持しなければならない



■えちごトキめき鉄道(株)

設立 H22.11.22 (H27.3.14開業)

株主 新潟県、上越市、糸魚川市、妙高市ほか

路線 妙高はねうまライン (37.7km)

日本海ひすいライン (97.0km)

えちごトキめきリゾート「雪月花」



■北越急行(株)

設立 S59.8.30 (H9.3.22開業)

株主 上越市、十日町市、南魚沼市、湯沢町、津南町ほか

路線 ほくほく線 (59.5km)

DREAM SKY TRAIN「ゆめぞら」



鉄道に関する取組②

○課題

- ・ 第三セクター鉄道の経営の安定化が当市の課題

えちごトキめき鉄道 当期純損失583,605千円 (H29)

北越急行 // 580,674千円 (H29)

○市の取組

三セク鉄道の経営安定化に向けた支援

- ・ えちごトキめき鉄道安定経営支援補助金 (30年間で約21億8000万円)
- ・ 北越急行安全輸送設備等整備事業補助金 (30年間で約4億円)

県や他の沿線自治体と連携した利用促進

- ・ えちごトキめき鉄道活性化協議会

トキ鉄の利用促進事業への助成 (鉄道施設見学会、マナーアップキャンペーンなど)

市民団体が行う利用促進事業への助成 (えちごトキめき鉄道開業3周年お祝い事業、外国人向けマップ作成事業)

- ・ ほくほく線沿線地域振興連絡協議会

公共交通利用促進パンフレット、市内公共交通利用ガイドの作成・配布など

次期総合公共交通計画の策定①

■現 状

1 利用者の減少

(千人)

	H25	H26	H27	H28	H29	平均減少率
輸送人員	1,674	1,618	1,598	1,507	1,474	▲2.9%
人 口	201	200	198	196	195	▲0.7%

※現行計画の輸送人員の目標（H31）は1,561千人

2 多大な財政負担

市単独補助額 329,289千円（H30決算見込み）

収 支 率 27.4%（同上） ※現行計画の目標（H31）は30.0%以上

次期総合公共交通計画の策定②

■ 検討状況

1 地域公共交通ネットワークのイメージ

① 路線を幹線、支線に区分し、役割に応じて利便性と効率性を向上

(幹線・支線のイメージ)

	主要幹線	幹線	支線
区間の例	上越妙高駅～直江津駅	駅～病院～区総合事務所	区総合事務所～集落
役割	市の中心地の駅・病院等の拠点間の移動と、市街地の生活交通を確保	13区・郊外の拠点から、市の中心地・駅へのアクセスを確保	集落から、日常生活に必要な機能がある拠点へのアクセスを確保
再編の考え方	・増便、ダイヤの改善等による利便性向上	・サービス水準を維持し、利便性を向上 ・収支悪化路線の効率化	・きめ細かな移動を確保 ・運行形態の転換等による効率化

次期総合公共交通計画の策定②

■検討状況

1 地域公共交通ネットワークのイメージ

②乗合タクシーや自家用有料旅客運送、互助による輸送など、きめ細かで効率的な運行形態を検討

(運行形態のイメージ)

利用頻度/便		利用人数/便				運行形態		運行本数
多い	少ない	10人以上	4~9人	2~3人	1人			
○		○				定時	路線バス	<div style="text-align: center;"> <p>多い</p>  <p>少ない</p> </div>
	○	○				デマンド	スクール混乗バス	
○			○			定時	乗合タクシー 自家用有償旅客運送 互助・自助による移送	
				○				
	○		○			デマンド	相乗りタクシー 通院・買い物タクシー	
				○				
					○			

次期総合公共交通計画の策定②

■検討状況

1 地域公共交通ネットワークのイメージ

③路線バスの現状と危機感を地域と共有し、地域住民の参画を促進

(路線見直しのイメージ)

- I) 利用状況、収支状況を踏まえて設定する目標に満たない路線について、地域住民と現状を共有し、路線の見直しを検討
- II) 路線の再編・試験運行の実施
- III) 目標の達成状況を評価・検証
- IV) 目標未達成の路線は路線の廃止を含めた抜本策を検討

次期総合公共交通計画の策定③

■ 検討状況

2 現状調査の実施

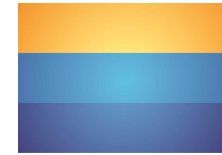
項目	時期	実施方法	実施人数
公共交通に関するアンケート	H30年3月	市民6,228人にアンケートを郵送(回収率44.1%)	2,745人
路線バスの乗降調査	H30年6～7月	調査員がバスに乗車し、利用者に聞き取り	5,932人
高校生アンケート	H31年1月	高校1, 2年生3,903人にアンケートを配布(回収率91.1%)	3,557人
聞き取り調査	H30年4月～ H31年2月	<ul style="list-style-type: none">・町内会長、民生委員への聞き取り・すこやかサロン参加者への聞き取り・住民の戸別訪問・免許返納者への電話聞き取り・病院、各種団体等への聞き取り	約2,900人
合計			約15,000人

次期総合公共交通計画の策定④

■ 検討状況

3 再編内容の検討と今後の予定

- ・ 現在、現状調査の結果を踏まえ、路線ごとに再編の内容を検討中
- ・ H30年度内に、再編の方向性のたたき台を素案として整理
- ・ H31年度以降、素案について、地域住民と意見交換、合意形成



上越市立水族博物館

うみがたり

JOETSU AQUARIUM



ご清聴ありがとうございました。